

娘等の更に報ふる歌三首

八五八番

若鮎釣る 松浦の川の 川なみの なみにし思は  
ば 我恋ひめやも

八五九番

春されば 我家の里の 川門には 鮎子さ走る  
君待ちがてに

八六〇番

松浦川 七瀬の淀は 淀むとも 我は淀まず 君  
をし待たむ